

「スケッチ入門」 (その10)

鎌倉を描き続けて…



2013年9月10日(火)～11日(水)

初秋の鎌倉で開催している「スケッチ入門」もいよいよ10回目を迎えた。本年も日本大学芸術学部 鞍掛純一教授ご指導のもと、2日間にわたり「スケッチ」を学んだ。

初秋の訪れというより、酷暑の余韻を残す暑さのなかでスタートした「スケッチ入門」。拠点となる鎌倉材木座の研修施設スタンレーサーバーパンオフィス・サーフサイドに集合した参加者は1泊2日でそれぞれの「スケッチ」ライフを満喫した。講師にお迎えしたのは日本大学芸術学部鞍掛純一教授。そして同学部助手の内山翔二郎さん、大学院生の豊島鉄也さんと寺田藍さんがお手伝いをしてくださいました。

初日午後、午前中の講義で学んだスケッチの技法を生かして、披露山公園にて風景を描く。降ったり止んだりの小雨がスケッチブックを湿らせるも、なんとか時間内を描ききる。立食形式の夕食懇親会ではスケッチの話題だけにとどまらず、それぞれの趣味や日常のこなどを参加者同士が大いに語り合い、楽しいひとときとなった。2日目は光明寺にてスケッチの後、作品鑑賞会を行って、2日間の研修を終えた。

「スケッチ入門」は、「描くことの楽しさを初歩から教わりたい」という方を対象に10年前に始まった。この研修を契機としてスケッチを始めた方や、毎年のように参加してスケッチを続けている方が大勢いらっしゃることは、事務局としては大変うれしい半面、「入門」としての役目はそろそろ終える時期であり、10回目を迎えた今回を最終回とすることとなった。終了を惜しむ声をありがたく思い、また、今まで支えてくださった講師や助手の皆様、ご参加の皆様にご感謝しあげつつ、ご報告とさせていただきます。



(左から) 豊島さん、内山さん、鞍掛教授、寺田さん



テクニックについての講義はスクリーンに画像を映して行われた



有名画家の作品を鑑賞して、いざスケッチへ!



刻々と変わる海と空の色がとても美しい、披露山公園から江ノ島方面を臨む



光明寺回廊にて。右手奥には小堀遠州の手による見事な庭園が見える

鎌倉スケッチギャラリー

